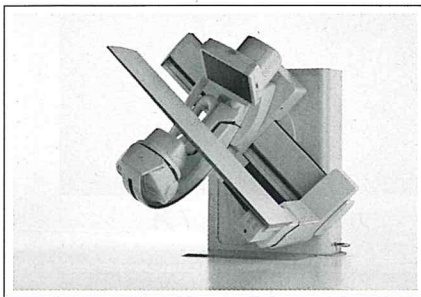


患者のみなさんと病院をつなぐ

かけはし



薬局窓口



Cアーム(胃透視装置)



院内学習会



療養病床イベント

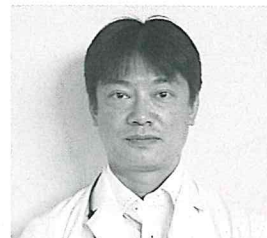
病院開設の理念

1. 地域住民に信頼される病院
2. 地域医療機関に信頼される病院
3. 職員に信頼される病院



花粉症(アレルギー性鼻炎)とその対策

耳鼻咽喉科 医師 工藤 香児



これから本格的な花粉症のシーズンを迎えます。「花粉症(アレルギー性鼻炎)」は身近な病気ですから、毎年悩まされている方も多いかと思いますが、みなさんその対策はどの様にされているでしょうか？

アレルギー性鼻炎とは、特定の原因物質(アレルゲン)によって誘発される鼻炎で、くしゃみ、鼻水、鼻づまりを主症状とします。くしゃみが連発して起こって、鼻水で鼻がグシュグシュになり、鼻がつまって息苦しい。さらに目のかゆみやノドがむず痒くイガイガしたり、乾咳が出たりといった症状も伴ったりします。

アレルゲンは人それぞれ異なり、いろいろなものがありますが、これが花粉によって起きるのが「花粉症」と呼ばれます。春先に起こるスギ花粉症が有名ですが、それ以外にも花粉症の原因は数多くあります。スギに引き続きヒノキ、初夏からはカモガヤ、オオアワガエリなどのイネ科植物、夏から晩秋にかけてはブタクサ、ヨモギなどのキク科植物、というように発症する季節が決まっているのが特徴で、季節性アレルギーと呼ばれています。

花粉以外にも家の埃(ハウスダスト)やダニ、カビ、イヌやネコの毛など、いろいろなものがアレルゲンになりますが、これらは季節に関係なく症状がみられるため、通年性アレルギーといわれています。

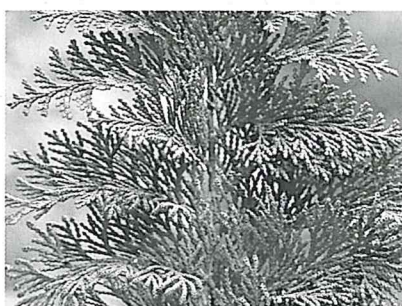
アレルギー性鼻炎対策の第一歩は、まずアレルゲンの同定から始まります。自分は何が原因で鼻炎を起こすのか、アレルゲンがわかればその対策もたてやすくなります。動物の毛などが原因なら、なるべく原因となるものに近付かない、花粉が原因なら外出時の防護マスクやゴーグル着用、外出後のうがい洗顔(眼)などもきちんとやれば、それなりに効果が期待できます。最近ではテレビなどで天気予報と併せて花粉情報を教えてくれる場合も多く、花粉の多い日には外出を控えるなど、うまく活用するとよいでしょう。

さて病院で行う実際の治療ですが、これは薬による治療が中心となります。

飲み薬にはたくさんの種類がありますので、症状や程度に応じて使い分けが必要です。抗ヒスタミン剤という昔ながらの薬剤は速効性がありますが、「眠気」という副作用が強いという欠点があります。最近



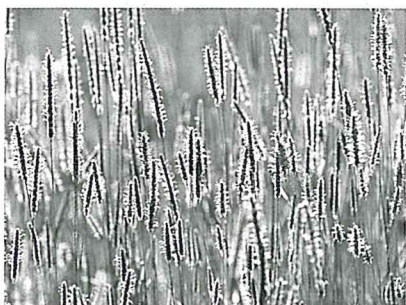
スギ：2～4月



ヒノキ：3～5月



カモガヤ：5～7月



オオアワガエリ：5～8月



ブタクサ：8～10月



ヨモギ：8～10月

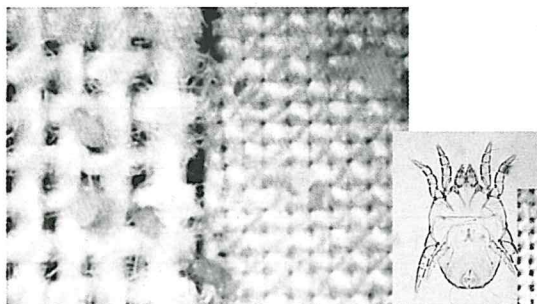
は眠気の副作用がかなり抑えられた新しい抗アレルギー剤が数多く出ていますが、これらはやや速効性に劣る傾向があり、効果が発現するまで少し時間がかかります。また、点鼻薬も数種類あり、飲み薬と併用すると非常に効果的ですし、様々な事情で薬が飲めない患者さんなどにもお勧めです。

その他の補助的な治療として、「鼻粘膜焼灼」という方法があります。鼻の中の粘膜を薬で焼いて鼻症状を緩和させる方法ですが、「焼く」といっても決して危険なものではありません。痛みもほとんどなく、入院も必要ありません。焼灼する方法も薬品だけでなく、最近ではレーザーを用いる施設も多くなっています。

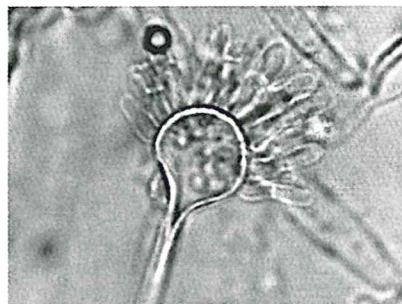
また、大学病院などの専門施設で行われている治療法として「減感作療法」というのがありますので簡単にふれておきます。これはアレルギーのエキスを

体に注射して体質を改善し、アレルギーを起きにくくするという根本的な治療です。最初のごく薄めたアレルゲン量から開始し、何週間もかけて徐々に濃度を濃くしていきます。最終的にはアレルゲンが体に入っても症状が出なくなるため、薬などが不要になります。

花粉症の内服治療は、症状が発現する前からあらかじめ薬剤を服用しておく「季節前投与」が効果的です。スギ花粉症の患者さんでしたらぜひ1月中からの服用をお勧めします。去年は花粉飛散量が記録的に多かったのですが、幸い今年の花粉量は昨年ほどは多くないとのこと。しかし花粉症の患者さんにとっては非常に辛い季節を迎えることには違いありません。自分にあった対処法・治療法をみつけて上手に乗り切りましょう。



ダニ：通年性



カビ：通年性

平成24年4月からリハビリ科外来受付時間延長を完全実施いたします。

平成23年10月から試行していましたがリハビリ科外来受付時間延長を、平成24年4月から下記のように実施します。

現 行		平成24年4月から	
月・水・金	午後 4時まで	月曜日～金曜日 土曜日	午後 6時まで
火・木	午後 6時まで		午前 11時まで
土曜日	午前 10時まで		



※ 詳細につきましては、リハビリ科職員にお尋ねください。

学校帰りや仕事帰りにご利用ください。
お待ちしております！



町立芦屋中央病院外来診療担当表

平成24年2月1日現在

診療科	時間	月	火	水	木	金	土
消化器科	午前	櫻井	別府	横	青山	櫻井	消化器科、内科医師で交替 (午前のみ)
	午後		青山		別府		
内科	午前	呼吸器科 西尾	呼吸器科 西尾		呼吸器科 西尾	呼吸器科 西尾	
		加来	加来	加来	村上	加来	
		循環器科 亀崎				循環器科 船津	
		糖尿病 田中(健)	肝臓病 日浦	糖尿病 森田		膠原病 水野	糖尿病 岡田
	午後	青山	櫻井	別府	加来	神経内科 松尾 村上	
小児科	午前	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師	九大派遣医師	
泌尿器科	午前	井上	井上	井上	井上	井上	井上 第2・4は休診
	午後	井上 女性専用	井上				
整形外科	9:00~	野々村	内藤	内藤 野々村	野々村	内藤	2人で交替
	10:30~	内藤				野々村	
	午後		内藤		野々村		
外科	午前	井下	永渕	2人で交替	井下	永渕	2人で交替
	午後	永渕	2人で交替		井下		
眼科	午前			産医大派遣医師		産医大派遣医師	産医大派遣医師
	午後						
耳鼻咽喉科	午前	工藤	工藤	工藤	工藤	工藤	
	午後		工藤	工藤		工藤	
腎外来	10:30~		宮崎	宮崎	宮崎		
C T ・ 超音波		小坂	小坂	小坂	小坂	小坂	小坂

受付時間

午前 [月曜日～金曜日] 11:00まで [土曜日] 10:00まで

午後 13:00～16:00

お知らせ

インフルエンザが流行っています

- ・外出後は手洗い、うがいをする。
- ・マスクを着用する。
- ・人が多く集まる場所への外出を控える。
などを心掛けましょう。



町立芦屋中央病院

〒807-0101 福岡県遠賀郡芦屋町幸町8番30号

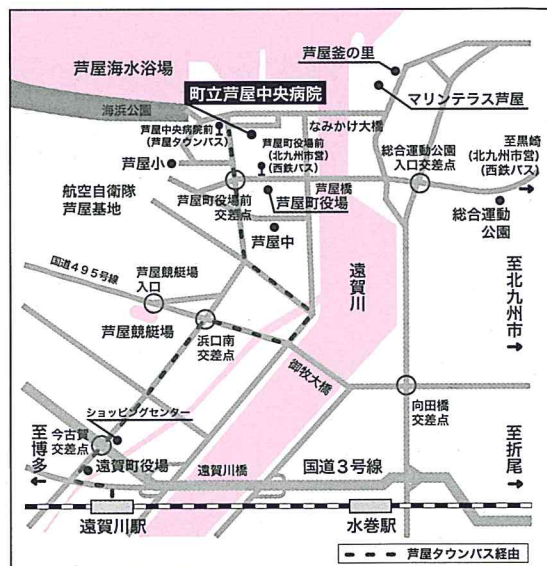
TEL 093-222-2931(代)

FAX 093-222-2176

FAX 093-223-0301(連携室)

e-mail hospital@town.ashiya.lg.jp

URL: http://www.ashiya-central-hospital.jp



・JR遠賀川駅から芦屋タウンバス「芦屋」行きにて「芦屋中央病院前」下車。徒歩1分
・JR折尾駅から北九州市営バスにて「芦屋町役場前」下車。徒歩8分